

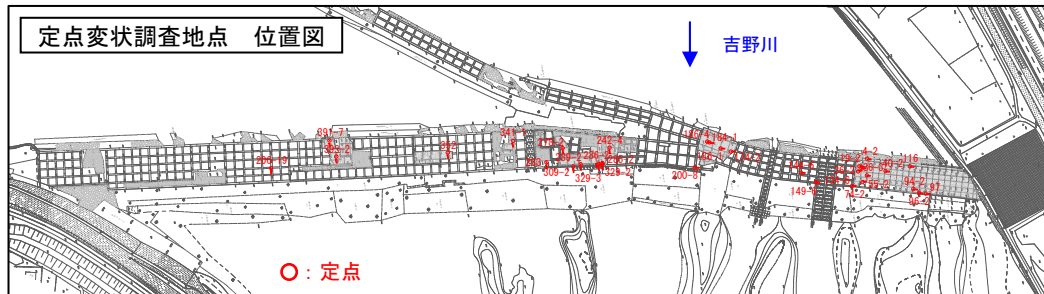
《別紙－1》 形状調査

形状調査

(1) 定点変状調査

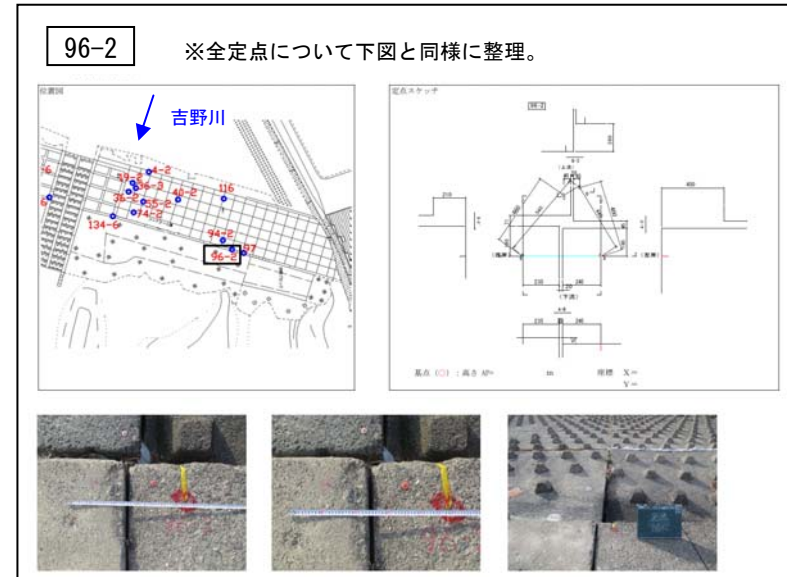
定点変状調査は、平成16年度調査で抽出された主な変状箇所を定点観測地点として設定し、その後の経年変化を定性的および定量的に把握しているものであり、既往の30箇所を実施しました。

調査は、変状を挟むように設置した測量ピンの間隔などをコンベックス等により簡易計測を行って、経年変化を定量的に観測するとともに、変状箇所の観察や写真撮影を行い、定性的に把握しました。



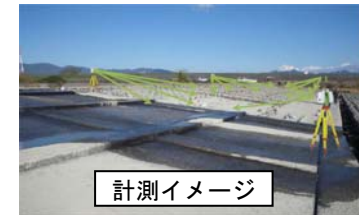
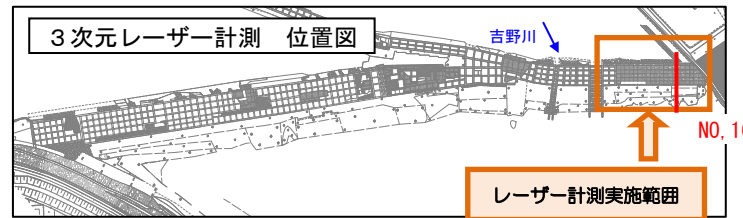
ピン間隔測定結果一覧表

地点		平成24年度結果	
番号	調査番号	内容	ピン間隔 (cm)
1	4-2	植石コンクリートクラック	50.0
2	19-2	植石コンクリート隙間	50.0
3	36-2	植石コンクリート隙間	50.0
4	36-3	植石コンクリート隙間	50.0
5	40-2	植石コンクリート隙間	50.0
6	55-2	植石コンクリート隙間	50.0
7	74-2	植石コンクリート隙間	50.0
8	94-2	植石コンクリート隙間	50.0
9	96-2	植石コンクリート隙間	50.0
10	97	植石コンクリート隙間	50.0
11	116	植石コンクリート隙間	50.0
12	134-6	コンクリート枠沈下	50.0
13	144-6	コンクリート枠沈下	50.0
14	149-6	コンクリート枠沈下	50.0
15	184-1	植石コンクリートクラック	50.0
16	186-1	植石コンクリートクラック	50.0
17	186-4	植石コンクリート隙間	50.0
18	200-8	コンクリート枠隙間	50.0
19	278-2	植石コンクリート隙間	50.0
20	283	植石コンクリート破損	50.0
21	285-2	植石コンクリート沈下	50.0
22	286-2	植石コンクリート隙間	53.5
23	289-2	植石コンクリート沈下	50.0
24	309-2	植石コンクリート隙間	50.0
25	329-2	植石コンクリート沈下	50.0
26	329-3	植石コンクリート隙間	50.0
27	352	植石コンクリート破損	100.0
28	391-7	植石コンクリート破損	50.0
29	393-2	植石コンクリートクラック	50.0
30	206-19	コンクリート枠隙間	50.0



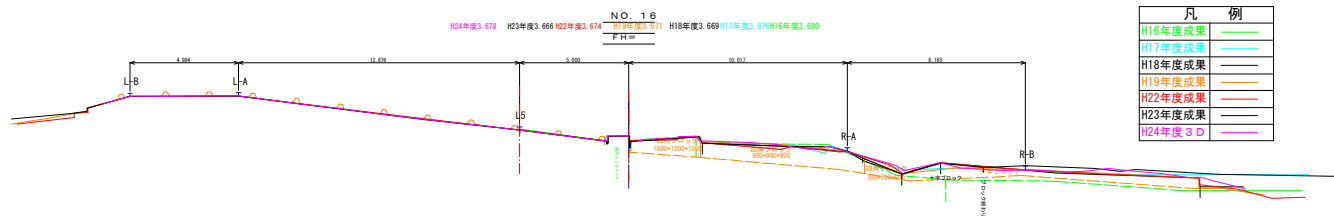
(2) 形状調査

平成24年度は、下堰第1魚道より左岸部における堰本体において、3次元レーザー計測を行い、堰の立体的な形状を把握するとともに、変状箇所や漏水箇所と堰の形状との関連性及び経年的な形状の変化について確認・整理しました。



・3次元展開縦横断面図の作成

3次元計測データから、計測範囲における縦断面図及び横断面図を作成し、既往データとの比較を行いました。



凡 例	
H16年度成果	—
H17年度成果	—
H18年度成果	—
H19年度成果	—
H22年度成果	—
H23年度成果	—
H24年度S O	—